

エルガシェウ・シャフゾド
タジキスタン出身
東京外国語大学 総合国際学研究科 修士課程

「タジキスタン」の紹介

母国は中央アジアに位置するタジキスタン共和国です。日本でタジキスタンという国について知っている方は決して多くないでしょう。

タジキスタンは豊かな自然地帯にあり、国土の多くを山間部が占めています。また、タジキスタンには巨大な氷河や泉が存在し、水資源が非常に豊富です。そのため、水資源は現在世界各国へ輸出され、タジキスタンの経済を支えているといつても過言ではありません。

さらに、タジキスタンには豊かな食文化が存在することも大きな特徴の一つです。タジキスタンはシルクロードに位置するため、同国の食文化には様々な地域からの影響がみられ、多様性に富んだものとなっています。その一方で、タジク民族固有の料理も少なくありません。

そうした代表例としては、「スマナック」があげられます。スマナックは牛乳と小麦粉で作られる伝統的な料理です。この料理は、昔から現在に至るまでタジキスタンの伝統的なお祭り「ナウルズ(ゾロアスター教の新春を祝うお祭り)」で振舞われます。スマナックを作るには 8 時間以上かかります。そのため、この料理を作っている間に、沢山の人々が集まっては朝から夜まで踊り、ナウルズに関する歌を歌うなどして私たちは新春の訪れをお祝いします。スマナックの他にも、タジキスタンにはプロフやクルトッブなど伝統的な料理が多く存在し、これらは家庭的な料理として日常的に食されています。

では、自分自身についても少し紹介していきます。私の出身はタジキスタン西部のトルスンゾダと呼ばれる町です。トルスンゾダはウズベキスタ

ン国境に近く、そこに住む人の多くは、公用語のタジク語に加えてウズベク語やロシア語も話します。住民の大半はウズベク人であり、私はウズベク系の学校に通っていました。私の学校の授業はウズベク語とタジク語に加えロシア語でも行われ、辛い言語学習漬けの日々を送っていました。

そうして高校を卒業し、さらに新たな言語を学習するため、タジキスタン国立言語大学の東洋学部日本語学科へ入学しました。最初は日本語の学習を非常に難しく感じ、習得できるかどうか不安でした。特に日本語の複雑な文法を理解するのに苦労しました。しかし、根気よく学習を続けたことで日本への関心は徐々に高まり、いつの日からかあれほど苦戦した文法を専門的に研究しようと志すようになりました。こうして、2021年に縁あって東京外国語大学の大学院へ入ることができました。

おかげさまで、現在自分の研究は順調に進んでいます。そして、今の自分の研究を土台にし、タジキスタンで日本語を学習している学生達のためにタジク語で書かれた日本語の教科書を作り上げることが、私の将来の夢です。現時点で、タジク語で書かれた日本語の教科書や辞書は一冊もありません。そのため、タジキスタンの日本語学習者たちは、分からぬ単語や文法を調べる際にロシア語を介さねばなりません。これでは、多言語から翻訳することによる言葉の意味的な差が生じてしまいます。こうした状況を改善するために、私自身の手でタジク語で書かれた教科書を絶対に完成させねばならないと感じています。

以上



タジキスタン 秘境「パミール高原」

引用:(TABI BIYORI)

URL: <https://tabi-biyori.jp/1308>



タジキスタン 伝統料理「スマナック」

引用:(ADVANTOUR)

URL:

<https://www.advantour.com/jp/silkroad/nowruz.htm>